

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊員
市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります



地域資源「わらび粉」を活用した
新たなビジネスを

隊員 前原 融

飛騨市の皆様、こんにちは！

本年度の5月より神岡町山之村で地域おこし協力隊として活動している前原融(まえはらと)です。

出身は群馬県で、地域おこし協力隊になる前は美濃市にある「岐阜県立森林文化アカデミー」という専修学校で、山村の資源を活用した地域づくりについて勉強していました。

皆さんは飛騨地方で「わらび粉」が盛んに作られていたことをご存知ですか？

山菜でおなじみの「ワラビ」から取れる「デンプン」であるこの「わらび粉」は、昔は主に和傘や提灯などの糊として高値で取引されてきました。しかし、作るのに大変な手間がかかる事、糊としての使い道が減った事で、最近ではめったに作られることが無くなってしまったのです。

私は大学時代に好物の「わらびもち」がほとんどサツマイモなどのデンプンから出来ていることを知り、衝撃を受けました。そして、「本物のわらび粉で作ったわらびもちを食べたい！」という衝動に駆られ、わらび粉について独学で調べ始めました。その結果、飛騨地方が日本一のわらび粉の産地であったこと、今ではほとんど作る人もいなくなってしまうこと等がわかってきました。

そこで、何とかして飛騨地方でわらび粉生産を復活させる事は出来ないかと森林文化アカデミーに入学し、現在に至ります。

私はこの「わらび粉」を貴重な地域資源と捉え、昔日本一の品質を誇っていた「飛騨のわらび粉」を後世に伝えていきたいと考えています。

実際に山之村で生産したわらび粉を京都の老舗和菓子屋に持ち込んだところ、高評価を頂きました。しっかりと品質を保って生産する事により、需要は確保できるのではないかと手応えを感じました。

また、わらび粉生産ができる季節は決まっているため、わらび粉生産以外の季節は山之村の特産品であるホウレンソウやトマト、トウモロコシ等の高原野菜、寒干し大根などの生産の支援などを組み合わせ、わらび粉生産十多種多業で生活していくモデルを考案・実践していきます！



▲山之村で生産したワラビ粉



▲水で溶かしたワラビ粉



▲根掘りを行う前原隊員

わらび粉生産の季節(10月〜雪が降るまで)には体験型のワークショップ等をやりたいと考えています。興味のある方はぜひ参加してください。

今年度は、病院長を含め4人の常勤医師でスタートしましたが、6月からは待望の常勤医師が赴任されました。外科の医師で、地域医療にご理解を頂き当院にて診療をしていただいています。

現在は、内科医3人、外科医2人体制で、休日・深夜を通して外来、病棟管理、急患などへの対応に力を注いでいます。

また、当院は15の診療科を開設しており、5月から富山大学附属病院のご協力により、2人の非常勤医師を増員派遣していただき、専門科は隔日や週1回の診療ですが、32人の非常勤医師で診療にあたっています。

さて、今年度は将来の市民病院の医師確保事業の一環として、初期臨床研修医の地域医療

こんにちは
市民病院です

6月から
待望の常勤医師が
1人増えました

管理室長 佐藤哲哉



6月から勤務してま
す
たなばし としゆき
棚橋 俊介 医師
専門 外科、消化器外科

研修の受入をより積極的に進めており、24人の医師が研修をされています。さらに、平成24年から進めている「神通川プロジェクト」として、富山大学医学部の5年生10人を受入れ、地域医療の実習の場として貴重な経験を積んでもらっています。市民の皆さんには、暖かい目で見守っていただければと思います。

これらの試みが、この地域の医療を理解していただき、将来の勤務地の選択の一つになればと思っています。

医師確保については、引き続き精一杯努力していきますが、医師に限らず看護師、介護士など医療スタッフが不足していません。どのような情報でもございましたらお知らせ下さい。

今後、地域の皆さんと一体となつた病院として頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

みんなで活かして
楽しい毎日!

飛騨の薬草を学ぶ
教養講座

ウメ

ウメの季節がきましたね。
ウメはミネラル豊富な強アルカリ性食品で、血液をきれいに保ち、疲労回復、胃腸の働きを回復、肝臓の保護、美容、そして他に類を見ない強い鎮痛・抗菌作用がある上、加工しやすく、保存に適しているため、昔から色々な方法で体に取り入れてきました。

今回はウメで夏バテを乗り切る対策としてウメ酒と梅ジュースについてお話ししましょう。

ご家庭でこだわりのウメ酒を作っている方も多そうですね。

青ウメ1.5kg、砂糖1.5kg、ホワイトリカー1.8Lの割合で作る方法以外にもさまざまな作り方があります。

我が家はウメの本場和歌山の友人に教わり、色も黄色くなり甘い桃のような香りが漂うほど熟した梅と、ハチミツを使って梅酒をつくります。ホワイトリカーに替えて泡盛で漬けると大人の味になるそうですよ。腐食しにくい度数35以上のお酒がお勧めです。



(村上光太郎「薬草を食べる」より)

ウメ酒の成分には多くのミネラル以外に48種のクエン酸が含まれます。飲むことで夏の喉の渇きを止め、食を進め、毒を除き、胃腸を元気にするので、暑気払いや疲労回復に非常に良く、体の内面を温めるので冷え性にも最適です。風邪、咳、日射病、めまい、たちくらみ、肌荒れ、ストレスにも良く、夏バテ防止のためにあるような素晴らしい効能です。

この効能、ぜひ子どもやお酒が飲めない人もほしいですよ。お酒を使わず、ウメと砂糖を交互に積み上げるとウメジュースが出来ます。ウメ酒は美味しく飲むためには2カ月、半年かかりますが、ウメジュースは1カ月から1カ月半でエキスが浸出しきるので、早く飲むのも特徴です。

ウメジュースを服用すると、ミネラルやクエン酸が大量にとれるため、体質改善に役立つ、喘息やアレルギー性疾患改善の手助けになります。体質改善のためには毎日少量ずつでも長期間根気に飲みましょう。

オンザロック、水や炭酸割りなどで楽しむ、酸味が爽やかでとても美味しいですよ。

村上先生が2冊も本を書かれるほど素晴らしいウメ。美味しく飲んで夏を乗り切りましょう。



飛騨市ホームページでもお知らせしています
飛騨市ホームページ http://www.city.hida.gifu.jp/
携帯サイト http://www.city.hida.gifu.jp/mobile/



6月30日現在(敬称略)

Table with columns: お名前, 住所, 年齢, お誕生, 保護者. Lists names and addresses of residents.

Table with columns: お名前, 住所, 金額. Lists names and addresses of donors and their contribution amounts.

Table with columns: 氏名, 住所, 金額. Lists names, addresses, and contribution amounts for disaster relief.

Table with columns: 氏名, 住所, 金額. Lists names, addresses, and contribution amounts for disaster relief.

※広報掲載を了承された方のみ掲載しております。

ふ 第5回河合小学校ふるさと大運動会 ふるさとを笑顔でつなぐ

6月4日（土） 河合小学校

6月4日、河合小学校で「ふるさと大運動会」が開かれ、全校児童47人と地域住民が参加し、総勢約300人が競技を楽しみ、交流を深めました。

ふるさと大運動会は、地域全体で学校行事を盛り上げようと、4年前から毎年行っています。

今年のスローガンは「ふるさとを笑顔でつなぐ運動会」。このスローガンの下、紅白に分かれて綱引きやリレーなどの競技のほか、全校児童による応援合戦、地元消防団による小型ポンプ操法の展示などが行われました。また、最後は全員で盆踊りを楽しみました。



綱引きで勝利し喜ぶ児童

地 宮川小児童がそば打ち体験 元に伝わる味覚を学ぶ

6月2日（木） 宮川小学校

宮川小学校の全児童16人は6月2日、同校でそば打ち体験を行いました。

これは、地域の豊かな自然や文化を学ぶ体験学習活動として毎年行われています。今回も万波そばの会のメンバー3人を講師に招き、そば打ちを行いました。

児童らは会員からそば打ちの手順や道具の扱い方などを教わった後、3グループに分かれて小麦粉2、そば粉8の二八そばを作りました。

同校4年生の宮前心寧さんは、「伸ばすところが難しかったけど、楽しくできました」と笑顔で話していました。



大きな包丁でそばを打つ児童

神 本に親しむ憩いの場へ 神岡図書館がオープン

6月4日（土） 神岡図書館

神岡図書館が6月4日、神岡振興事務所の1階に移転しオープンしました。

オープニングイベントでは、最初に神岡民謡保存会による船津めでたや神岡音頭が行われ、山本教育長の開式の後、梶田先生からの本の贈呈、神岡中学校生徒による吹奏楽演奏や合唱、飛騨神岡高校生徒によるロボット模擬試合やミニ俳句の披露など多くの催しが行われました。

主催者あいさつで都竹市長は「図書館は地域にとって重要な建物。神岡図書館は、本に親しむ場として、生涯学習の拠点として、コミュニティの中心としての憩いの場として活用してもらいたい」と述べました。



テープカットでオープンを祝いました

み 古川小学校で田植え体験 みんなで楽しくお米作り

6月3日（金） 古川小学校

古川小学校の5年生児童73人は6月3日、町内の田んぼで田植え体験をしました。

農家の田中一男さんの指導の下、児童らは5畝の田んぼにモチ米の苗を手で植えていきました。今後は、水の取り入れや稲の生長の観察を行い、稲刈りや親子で餅つきなどを行う収穫祭、米についての発表会などを行う予定です。

同校5年生の垣内陽香理さんは「家の近くで田植えをやっているのを見て楽しそうだと思っていたけど、苗を立たせて植えるのが難しかった」と話していました。



裸足で田んぼに入り手作業で苗を植える児童

吉 藤まつりでの収益金を被災地へ 城高校茶道部が義援金を寄付

6月14日（火） 市長室

吉城高校茶道部は、5月22日に行われた「復活!安望藤園」藤まつりで、熊本地震チャリティーと銘打ち茶席を行いました。

6月14日には、部長の柚原明妃さんらが市役所を訪れ、熊本地震の復興に役立ててもらおうと義援金1万5,267円を市長に手渡しました。

柚原さんは「吉高地域キラメキ（YCK）プロジェクトの一環として、茶道部として何かできないかと思い、今回の活動を行った。今後も地元の高校として、地域貢献をしていきたい」と話していました。



募金は日赤を通じて被災地へと送られます

飛 鮎飛さん長年の活動に感謝状 驛の語り部として歴史を繋ぐ

6月9日（木） 市長室

飛驒の語り部として活動を続ける鮎飛定男さん（古川町三之町）は、毎年5月に高山市高根町で開催される「野麦峠まつり」の会場で、かつて飛驒地域から野麦峠を越えて長野県の製糸工場へ出稼ぎに行った女工の姿を語り続けています。長年の活動に対し、感謝状が贈られたことを受け、6月9日に市役所を訪れ市長に報告しました。

都竹市長は「長年のご労苦に敬意を表するとともに、後世に伝える語り部として、今後もご活躍願いたい」と話していました。



感謝状を持つ鮎飛さん（左）と都竹市長

防 熊本地震における課題検討委員会が初会合 災体制を強化し、市民の安全・安心へ

6月15日（水） 市役所

市は6月15日、熊本地震における課題検討委員会を開きました。

これは、4月に発生した同地震では、自治体の災害対策本部の設置や避難所運営が計画通りに実施できなかった現状を学び、市の防災対策に役立てるのが目的です。

委員会では、被災地に派遣された市職員等の報告などに基づいて、「飛驒市地域防災計画」と照らし合わせながら検証しました。

都竹市長は「各部署で課題を検討し、対応できることはすぐにしていきたい」と話していました。



初会合であいさつする都竹市長

が 更にあんきに暮らせる町を目指して んと災害の協定 調印式

6月14日（火） 市役所

市は日本生命保険相互会社（日生）と「がん検診受診率向上に関する連携協定」を、中部電力株式会社（中電）と「災害時における復旧用前進基地の使用に関する協定」をそれぞれ結び、6月14日に調印式を行いました。

日生との協定では、同社岐阜支社が行う戸別訪問の際に、市が作成したがん検診の普及啓発用リーフレットを配布することで、受診率向上を目指します。

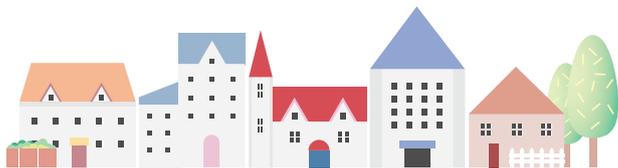
中電との協定では、災害発生時に市有施設の駐車場などを災害復旧拠点として提供します。

都竹市長は「このような協定を結ぶことができ、心強い」と話していました。



連携協定書を手にする
中島岐阜支社長（左）

災害協定書を手にする
中川高山営業所長（左）



ス 約250人が功績をたたえる スーパーカミオカンデが観測20周年

6月17日（金） 富山市

東京大学宇宙線研究所では6月17日、富山市のホテルでスーパーカミオカンデ（SK）観測20周年記念シンポジウムを開きました。このシンポジウムは、神岡町茂住地内にあるSKでの観測開始20周年を記念して開かれ、文部科学省、米国エネルギー省や国内外の大学研究者等約250人が参加し、研究成果や今後の研究計画に関する講演がありました。

開会のあいさつで同研究所所長の梶田隆章先生は「20年間無事にニュートリノ研究を進めることができたのは、関係者皆様のご協力のおかげです」と感謝の意を述べました。

その後、祝賀会が行われ、来賓あいさつで都竹市長は「日本、世界を代表する研究機関である。皆さんの研究を精一杯応援します」と祝辞を述べました。



あいさつする梶田先生（左）と都竹市長



鏡開きで20周年を祝いました

ば 色とりどりのバラが来場者を魅了 ら園まつりが開催

6月19日（日） 香愛ローズガーデン

（株）飛騨ゆい河合事業部は6月19日、河合町の香愛ローズガーデンで「ばら園まつり」を開きました。

会場では、さまざまな種類のバラが見ごろを迎え観光客を魅了したほか、ミニSL体験や各種バザーなどが行われ、訪れた方を楽しませました。

ローズガーデンでは、6月から10月にかけて次々と花を咲かせ、食堂ではバラを利用した料理が楽しめます。

香愛ローズガーデン営業日

～7月18日（月） 通常営業（木曜日休み）

7月19日（火）～10月7日（金） 土日祝日のみ営業（平日休）

10月8日（土）～10月23日（日） 通常営業（木曜日休）



鮮やかな花色とバラの香りを楽しむ来場者

ト 神岡鉱業が機関車などを寄付 ロッ庫再出発

6月16日（木） 旧奥飛騨温泉口駅

レールマウンテンバイクが発着する旧奥飛騨温泉口駅の駐車場に6月16日、かつて神岡鉱業が使われていた電気機関車などが展示され、お披露目式が行われました。

この機関車などは、20年以上前まで鉱山内で作業員を乗せたトロッコを引くのに活躍しており、所有する同社が使用していた機関車の利活用を図ろうと市に寄付したものです。寄付された機関車は、レールマウンテンバイクを運営するNPO法人「神岡・町づくりネットワーク」が管理し、駅の魅力を高めるために、レールや枕木を敷き、展示されています。



お披露目式されたトロッコの前で記念撮影する関係者

●田んぼの湯
鉄分を多く含んだ温泉はまるで田んぼの
ように茶色になります。



Cコース(3万円~5万円未満)
子宝湯!... 鉱泉旅館ペア宿泊券(1泊2食付)



季節感あふれる料理が並びます



花や草木に囲まれた空間で、癒やしを
お届けします



ふるさと応援寄付金
至高の一品

このコーナーでは「ふるさと納税(ふるさと応援寄付金)」のお礼の品
や店舗を紹介します。就職、通学、結婚等で飛騨市外に在住の方がいら
っしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

※飛騨市をPRする観点から特産品のお返しは市外に住民票のある方に
限らせていただきます

※詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.city.hida.gifu.jp/>

第3回

鉱泉旅館 たんぼの湯

TEL 0577-73-2014



栗谷 亮臣さん、律子さん
主人・女将



当館自慢の温泉は鉄分を多く含み、赤茶色の泉質が特徴です。100年以上前から湧き出るこの温泉は、保温力が高く、芯まで身体が温まるため、「子宝」にも効能があると言われています。

食事は、飛騨牛やアブラエなど地元産の食材のほか、鮎や山菜など季節の素材を生かした料理を提供いたします。

当館では、皆さんに心からくつろいでいただけるよう、アットホームな雰囲気づくりを心がけています。また、宿泊や日帰り入浴だけでなく、ランチ(要予約)や合宿等でもご利用できますので、どうぞお気軽にご相談ください。

人口の動き (7月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
12,164	13,114	25,278	8,915
出生	9	転入	29
死亡	32	転出	39

消防の状況 (6月30日現在)

	火災	救急
飛騨市	4	525
その他 (管外出動)	0	6
前月比	0	93

交通事故の状況 (6月30日現在)

	人身交通事故		物損 交通事故
	件数	死者 傷者	
累計	11	0 20	249
昨年	7	0 8	307
増減	4	0 12	-58

飛騨警察署管内(平成28年1月1日からの累計)
※人身事故件数、負傷者数、物損事故件数は速報値



●発行/平成28年7月20日 飛騨市役所 ●編集/企画部 企画課 ●印刷/有限会社村坂印刷

〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

☎(0577) 73-2111

🌐 <http://www.city.hida.gifu.jp/>